

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	設計事務所（所長）	・公共建築物の設計等の発注が、今後増えてくる。
		商店街（代表者）	・小旅行などで色々と買物をしている様子が見受けられる。
		スーパー（店長）	・客の来店頻度が多く、雰囲気も良い。
		衣料品専門店（総務担当）	・クオリティーの高い商品を求める客が多くなっている。
		家電量販店（企画担当）	・来客数が増えており、話題の家電商品（プラズマテレビ、DVD、マイナスイオン製品、クッキングヒーターや生ごみ処理機など）が最近よく動いている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・大型家電量販店がオープンしたため、行き帰りに立ち寄る客が増えていく。
		一般レストラン（経営者）	・ボーナスが出て、当店の場合はパーティ関係が少しずつ増えてくる。
		旅行代理店（従業員）	・夏休み期間の旅行需要は上向きで、国内はテーマパークを中心として伸びている。海外においてはヨーロッパ等の長期間旅行の申込が多く、ここ2、3か月間は明るい見通しが立ちそうである。
		テーマパーク（職員）	・夏休みの予約の動きが出始めており、7月の上旬に向けて、もう一步踏み込んだてこ入れ策を打つ予定である。
	観光名所（職員）	・鹿児島県への観光客数が増えている。スカイマークの就航やNHKの朝のテレビ小説の効果が多少なりとも出るのではないかと思う。	
	変わらない	商店街（代表者）	・売上が厳しく、購買力も低下したままであり、厳しい状況は変わらない。
		商店街（代表者）	・メーカーの秋冬・春夏の商品の開発や展示内容を見る限り、商店街が大きく影響を受けるような商品開発があまりない。
		百貨店（売場担当）	・4月に競合店となるショッピングセンターが開店し、4～6月の売上が前年を下回っており、この状況は変わらない。
		スーパー（店長）	・客の雰囲気から、多少閉塞感が消え、ある程度の余裕が感じられるようになった。
		スーパー（店長）	・4月、5月に大型店が続いてオープンしたが、その影響が続いていく。
		スーパー（店長）	・先月同様に売上はアップ傾向であるが、身の回り品は価格が安くて品質の良いもの、いわゆる一品単価割れがまだ継続しており、総額は変わっていない。
		スーパー（総務担当）	・衣料品は気温の変化によって、好調・不調の波が激しく、また、バーゲン等の先取りで商品単価もなかなか上がらない。食品も、香料の問題でなかなか売上が伸びない。
		スーパー（企画担当）	・香料の問題、過去の問題等々により食品に対する信頼性がかなり揺らいできているため、厳しい状況がこのまま続く。
		コンビニ（店長）	・サッカーワールドカップという大きなイベントがあった割には、全く影響がなく、それどころか反対に悪化している。
コンビニ（販売促進担当）		・学生の購入単価が下落傾向にあり、朝の土木関係者の買物が減少している。また、夜11時～深夜にかけての来客数も最近減っている。この状況は今後も続く。	
家電量販店（店長）	・高額商品の動きが鈍くなり、単価も前年から1割減っている。		
乗用車販売店（従業員）	・最近、人員削減やボーナスカットを実施する企業に勤める客から、車を売りたいとよく言われる。		
乗用車販売店（従業員）	・新車販売台数が減ってきている。		
その他専門店〔医薬品〕（従業員）	・医薬品小売業界は価格競争が一段と激しくなっている。		
一般レストラン（スタッフ）	・夜の客が特に少なく、開店休業のような状態である。近隣店にも同じような状況のところがある。		
スナック（店長）	・何かアイデアを考えて客のハートをつかむような努力をしていかななくてはならない状況にある。		
都市型ホテル（副支配人）	・客の予約状況がまだ活発でない。一方で客単価もかなり落ちている。		
タクシー運転手	・相変わらず、リストラという言葉がよく聞かれ、当社にも会社をリストラされて新しく採用されてくる高齢者の新入社員が多い。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（業務担当）	・カメラ付携帯電話が発売され、価格下落で需要が高まっていることもあって、7月くらいまでは好調に推移するが、8月、9月になるとまた下降して元に戻る。
		通信会社（営業担当）	・キャンペーンによる売行はあまり良くない。
		設計事務所（所長）	・公共投資の意気込みがまだ見えない。しばらくは底値安定という状態である。
		住宅販売会社（従業員）	・展示場への来客数は少なく、建替えの客の動きも鈍い状況が続いている。
	やや悪くなる	住宅販売会社（経営者）	・住宅業界は値引きや商品サービスなどで、厳しい現状に変わりはしない。
		商店街（代表者）	・客の買い渋りで一品単価や売上が減少していく。
		百貨店（売場主任）	・近辺の商店街では、個人店の閉店と空洞化がまだまだ進む。
		百貨店（営業担当）	・来客数は増えているが、買上単価は落ちている。今後も、新規採用が減り、客が使える金額が減っていく。
		百貨店（営業担当）	・県内では14年度の春闘でのベースアップやボーナスの状態が悪い企業が多いため、消費の伸びが見込めない。
		百貨店（営業担当）	・中元商戦を控えているが、一品単価、客単価ともに落ちていく。
百貨店（販売促進担当）		・ギフトやクリアランスの6月への前倒しで、7、8月の売上は厳しくなる。	
スーパー（店長）		・ボーナスの削減や給料のカットなどにより、ギフト需要、高額商品の需要がかなり減る。	
	タクシー運転手	・例年、この時期はビアガーデンなどの飲み会が多いが、今年は少ない。暑くなるとさらに人の動きが悪くなる。	
	悪くなる		
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	精密機械器具製造業（経営者）	・新規受注件数が増えており、取引先の状況が良くなってきている。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・北米向けの仕事が増加したため、今後2～3か月は好調な状態が続く。
		建設業（総務担当）	・住宅金融公庫の融資基準が変更され、個人住宅の発注が減ってきたが、民間、公共関係の発注が今後は増えてくる。
		建設業（営業担当）	・9～10月にかけて官民各方面の職種より発注予定の大型物件が上がっている。価格競争は激しくなるが、情報量が増えてきている。
	変わらない	農林水産業（経営者）	・夏場向けの商品及びサマーギフトの時期であるが、あまり期待できない。
		家具製造業（従業員）	・民間の設備投資もあまり積極的ではない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・公共事業の発注が少なくなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連は新しい商談が成立しないという状況にあり、一服感が出てきており、先行きの見通しがつかない。
		輸送業（総務担当）	・半導体はよくなっているが、他の商品まで影響を受けて良くなるような状態ではない。現在の状況がまだしばらくは続く。
	広告代理店（従業員）	・相変わらず受注環境は厳しく、広告の企画書を出してもクライアントの反応は鈍い。	
やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・例年8月は悪いが、今年は特に受注が少なくなる。特に食器類は、低価格商品の輸入とギフトの落ち込みのために状況が悪くなっている。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・受注の引合いは少しは出てきているが、コスト面が厳しく、受注確率が低い大変である。	
悪くなる	農林水産業（従業者）	・海外からの輸入農産物が多くなる。	
	経営コンサルタント	・酒販売関連のコンサルタントをやっているが、今、酒小売店が減少している。店によっては酒以外の商品も置いているところもあるが、利益率が低いので、中にはアルバイトに出る人もいる。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる		
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・最近、派遣の問い合わせが少ない。夏場商戦に向けての企業の動きが全く感じられない。
		職業安定所（職員）	・今後もリストラ等が当面続き、それによる新求職者数の増加傾向に歯止めはかからない。
職業安定所（職員）		・求人数はやや増えたものの、求職者数は前年より多くなっている。周辺企業の様子も整理解雇が若干見られる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率は今年度に入り右肩下がりの傾向にある。リストラ等、非自発的離職者の動向を今後も注視したい。
	やや悪くなる	民間職業紹介機関（職員）	・製造業や流通業界の低迷が続いているため、リストラされた中年層の受け入れ口が非常に狭くなってきている。ただ、半導体業界は少しずつではあるが求人が伸びている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・求人者と求職者の条件のミスマッチが広がり、なかなか就職できない状況にある。
	悪くなる	-	-